

# 特定非営利活動法人地域精神保健福祉機構

COMHBO ; CCommunity Mental Health & welfare Bonding Organization

## 設立趣意書

### 1 趣旨

心の病は人が誰でもわざらう可能性のある病です。

心の病が長期化すると、人は生き方の変化を強いられ、生活を営むうえでのさまざまな障害を抱えてしまう場合もあります。心の病をもつ人たちやその家族は、しばしば将来への不安や絶望的な感情に悩まされながら生きてきました。ときには、自分の夢をあきらめ、挫折感を抱きながら生きてこざるを得ませんでした。

私たちは、このような状況を変えたいと願っています。

目標としたいのは、心の病を持つ人たちやその家族が自信を回復し、自己実現を果たすことが可能な社会の実現です。言い換えるならば、「心の病や障害を持っていてもあたりまえに地域で暮らし、充実した生活をおくることができる社会」の実現です。

このような社会の実現のためには、以下のような視点を基準として活動することが必要であると私たちは考えます。

#### ①心の病をもつ人たちやその家族など、当事者の視点を活動の中心にすえる

医療・福祉などさまざまな現場においては、従来、「このような症状を持った患者はどのように“扱う”のが良いのか」といった、当事者を客体化した視点でとらえて処遇することが考え方の主流でありました。しかし、このような視点だけに囲まれたなかでは、当事者が自分の希望や意思を中心にして生きていくことは困難です。必要なのは、「私はこのように暮らしていきたい」という当事者の主体的な発言や視点を基軸にして、支援や援助が組み立てられることでしょう。当事者自身をふくむ多くの人たちの意識変革とともに、このような視点を中心とした活動を発展させる必要があるのです。

#### ②科学的根拠に基づく精神保健医療福祉サービスの普及活動を進める

心の病を持つ人たちやその家族などの当事者は、有効性について科学的な根拠があり、質の保証されている精神保健医療福祉のサービスを受ける権利を持っています。もし当事者が科学的な根拠のないサービスを不当に強いられているとすれば、それはサービス提供側の意識の低さや努力の欠如のあらわれであり、そうした状況はきびしく批判されるべきでしょう。

私たちは、どのようなサービスが地域で暮らす当事者の役に立つかを科学的に研究活動を通じて明らかにしていくことが重要であると考えます。そして、どのようなサービスについての情報提供をさまざまな手段を用いて積極的に行ない、人々の意識の変革と行動の変化に貢献することが必要であると考えます。

### **③特定の領域にとらわれず、自由闊達な精神をもって活動を行う組織をめざす**

わが国には、地域を活動の拠点とする家族会や患者会、各種施設、また、全国的な活動を行う職能団体や当事者団体など、精神保健医療福祉の向上をめざしている団体が数多く存在しています。

もし、これらの活動が有機的に連携をすることが可能であるならば、私たちはより物事を多面的・総合的・創造的に考えることが可能となるでしょう。そして、その全体的な活動は大きなパワーとなり、望ましい社会の実現に多大な貢献をすることでしょう。

あらたな社会を築きあげていくために、志を同じくする人たちが有機的な連携を創りあげ、自由闊達なる精神を保ちながら積極的に活動をしていくことが必要であると私たちは考えます。

「心の病や障害を持っていてもあたりまえに地域で暮らし、充実した生活をおくことができる社会」。私たちは、その目標を達成するために、具体的な方針を提示し活動できる人たちの集まりが必要であると考えました。そして、そのような人たちのひとつの拠点として「特定非営利法人地域精神保健福祉機構(COMHBO; CCommunity Mental Health & wel-fare Bonding Organization」を設立することとしました。

## **2 申請に至るまでの経過**

私たちは今まで、家族会活動、患者会活動、心理教育やケアマネジメント、ACT/IPSなど科学的根拠にもとづくサービスの研究と普及、あらゆる媒体を介しての啓発活動、海外の活動との連携など、さまざまな活動に携わってきました。

この数か月、私たちは会合を持ち、「心の病や障害を持っていてもあたりまえに地域で暮らし、充実した生活をおくることができる社会」を実現するには何をなすべきなのかに、ついて議論を重ねてきました。

議論のなかでは以下のことが確認されました。

- ・「当事者が自分自身の生活の中心として存在しうる」社会づくりが必要であること。
- ・その目的のためには、多彩な活動の展開が求められること。とくに当事者の地域生活の維持に役に立つ、科学的根拠に基づくサービスの定着とその普及が欠かせないこと。
- ・既存の枠組みにとらわれず、多面的・総合的・創造的な視点にもとづく活動を行うことのできる、多方面の人たちにより構成された集団が必要なこと。

以上のような議論を経て、その集団の使命・活動内容が、徐々に明らかになりました。組織として必要な構造についても大枠が確認されました。

そして、平成18年9月18日には設立総会を行い、特定非営利法人 地域精神保健福祉機構 (COMHBO) 結成するに至りました。

設立代表者 大島 巍